

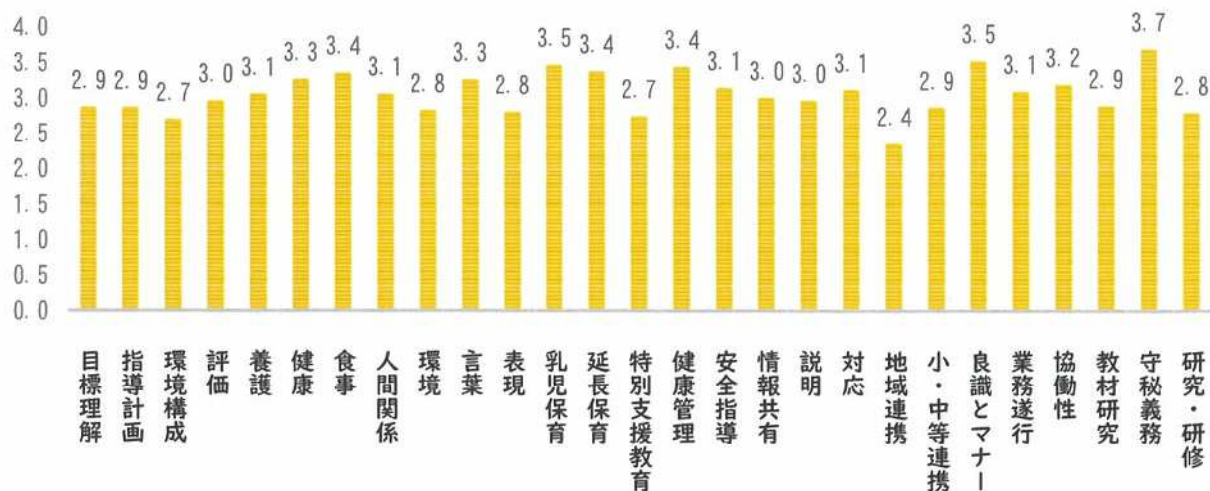
令和6年度の自己評価

令和7年1月7日

評価 : 1 努力が必要。 2 もう少し。 3 概ねできている。 4 十分できている。

No.	観点	項目	評価	
1	目標理解	目標理解	2.9	2.9
2	質の高い指導計画	指導計画	2.9	2.8
3		環境構成	2.7	
4		評価	3.0	
5		発達援助(保育の方法・内容)	養護	
6	健康		3.3	
7	食事		3.4	
8	人間関係		3.1	
9	環境		2.8	
10	言葉		3.3	
11	表現		2.8	
12	乳児保育		3.5	
13	延長保育	3.4		
14	特別支援教育	特別支援教育	2.7	2.7
15	健康・安全	健康管理	3.4	3.3
16		安全指導	3.1	
17	保護者支援	情報共有	3.0	3.0
18		説明	3.0	
19		対応	3.1	
20	関係機関との連携	地域連携	2.4	2.6
21		小・中等連携	2.9	
22	資質向上	良識とマナー	3.5	3.2
23		業務遂行	3.1	
24		協働性	3.2	
25		教材研究	2.9	
26		守秘義務	3.7	
27		研究・研修	2.8	

R 6 自己評価



IX 取組の成果・課題と今後への志向

1 取組の成果

- (1) 今年も子どもたちとたくさん話をし一緒に活動に取り組むよう心がけてきました。朝から昨日会った出来事・今日園で自分がしたいこと・できるようになったこと・自分の体調などいろいろなことを話してくれます。聞き逃さないように気を付けていますが、話しをしてくれるタイミングが同時になることも多く、後回しになっているのではと反省しています。
- (2) 遊びが豊かになり、できることも増え、楽しく仕事できたと思う。
- (3) どんな声かけを、どのタイミングが行うか、視覚情報を提示するタイミングやステップアップするタイミングを見計らうのが難しかったが、担任の先生方と支援方法について相談しながら実施できた。
- (4) 個性豊かな子どもたちが多くクラスで私自身悩むこと・落ち込むことが多かった。専門の本を読んだり、インターネットで情報を得たりして、肯定的な言葉掛けや望ましい行動を伝えるようにした。自分の根気が続かず強い口調で言うこともあったので、自分を律しながら根気強く伝えていきたい。
- (5) 一歳児へ絵の具・粘土・糊を使った遊びや自由画帳での遊びを継続して取り組むことができ、自分の目標には近づいている。1月～3月も続けていきたい。
- (6) 昨年よりは時間が取れて、子どもたちと接して遊ぶことができていた。しかし、目配りは必要で、手が出たり、口が出たりしてトラブルにならないように見守った。子どもとじっくり遊ぶまではいかなかった。職員に余裕があるときは4名体制にしてもらってよかった。心にも余裕ができていた。
- (7) 子どもの育ちを大切に一人一人の発達に寄り添い、丁寧に関わることを心がけている。
- (8) 配慮の必要な子どもへはそのクラスの先生と連携をとり、試行錯誤しながら関わる事ができた。
- (9) 今の自分が保育士として子どもたちにきちんと関わっているのか、安全な環境を作っているか、さらには国分西での生活が楽しいと思って通えているかなど、改めて考えたり、感じたりすることができました。
- (10) 年齢や季節に合った指遊びや絵本の読み聞かせなどを事前に準備し、子どもたち共に楽しむことができた。
- (11) 年度途中での復帰だったので、それぞれでのクラスの状況を把握したり、子どもたちとの信頼関係を深めることを意識したりして過ごしました。しばらくお休みしていたので忘れられていましたが、子どもたちはすぐに受け入れて接してくれて、スムーズに保育に入ることができ、ありがたかったです。

2 課題

- (1) 自然遊び・幼児に必要な外での遊び・他者との関りなど行事に追われてとても少なかった。簡略化できることはしていき、遊びの中から学びを大切にしたい。
- (2) 支援が必要な子どもの危険回避に気がいってしまい、他に支援が必要な子どもに対しても支援がなかなかできていないように思います。残された日々大切にしていこうと思います。
- (3) 療育機関への見学をとおして活動内容や支援方法を学び、保育に活用していこうと計画を立てていたがでぎずに終わってしまっている。早くから担任と話を進め、計画をしっかり立てる必要があった。
- (4) 取り掛かりや進め方などまだまだ自分で努力をしなければいけないと感じることが多い一年であった。
- (5) 支援が必要な子どもに対してその場・そのときに応じた対応。今も取り組んでいるが、その年でのクラスの中でも違うため見極める。
- (6) 手探りの状態で過ごしてきましたが、もう少し学習会に参加するなどして知識を広げられたらよかったと思います。日々の目まぐるしさの中でも冷静に対処する判断力を身に付けたいと思いました。
- (7) Ⅲ発達援助一環境一24では、季節の植物をもってきて実際に触れさせたり、においをかがせたりすることを取り入れたかったが、あまりできなかった。
また、クラスの話合いがあまりできなかったことが反省。
- (8) 時間にゆとりをもち、活動内容が充実させられるように取り組みたい。
- (9) 行事の前など準備等でばたばたと慌ただしい日が続いてしまった。早めに取りかかり、余裕をもって行事を迎えられるように心がけたいと思う。
- (10) 子どもたちが意欲的に楽しく活動に参加したり、次の行動に移せるような言葉掛けや保育の引き出しを増やせたりできるように努めたい。
- (11) 障害のある子どもとの関わり方を身に付けていきたい。

3 今後への志向

- (1) どんご遊びの充実・砂場遊びの充実・散歩・自然物に触れる遊びの拡充。
- (2) 支援が必要な子どもに対する接し方やその保護者への対応の仕方などいろいろなアプローチの仕方を勉強したいです。
- (3) 文字や数を数字を生活に取り入れる方法や文字や数などを使ったゲームを勉強したいです。
- (4) 支援の必要な子どもが増えてきており、対応をして手厚い関わりが必要になってきている。楽しく遊びや

活動に参加できるような関わり方を日頃から保育者間で話し合っ
て取り組んでいきたい。

- (5) 本人の気持ちを受け止めながらも見守る場面、本人初の言動を待つ機会を増やしていきたい。そのためには
どういう支援が必要なのか考え、実施したい。
- (6) いろいろな学習会に参加したり、他の先生たちと話し合ったりして知識として取り入れられたらと思う。
- (7) 絵本の読み聞かせになるとじいっと座って聞いている。市の図書館の絵本や園の絵本をもっと活用して見
せようと思う。
- (8) 子育て支援についてもう少し学んでいきたい。
- (9) 異年齢の関わりをつくりたい。
- (10) 保育での振り返りで生かしていける研修・悩みの共有等。
- (11) 未満児クラスではわらべ歌やベビーマッサージを取り入れられたらと思う。
- (12) もっと知識を身に付けるため本を読んだり、話を聞いたりするなど自分のペースで学習していきたい。
- (13) 月齢に合う絵本を担当の先生が朝礼中など少しの時間で読み聞かせができればと思います。
- (14) 子どもの興味・関心を生かした教材・保育アイテムの制作に挑戦したい。
- (15) 外遊びの際など自然や季節が感じられるような環境づくりを担当に相談・提案しながら工夫していきたい。
- (16) さまざまな特性をもつ子どもたちについてもっと理解を深めたい。
- (17) 障害のある子どもとの関わり方について保育者の意見を聞いたり、専門の方の話を聞いたりして学ぶ。
- (18) 子どもとのよりよい関わりや声掛けができるようになりたいです。
- (19) 今まで通り先生方の補助を頑張りたいです。